



消防だより

■問い合わせ先
上ノ国消防署
☎ 0139-55-2071

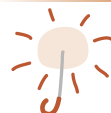
かみのくに消防フェアについて

10月5日(日)にかみのくに消防フェアを産業まつりと協賛で開催しました。職員、女性防火クラブで各ブースに分かれ、消防車などの展示、消火器体験、救命(AED)体験など、学びを通して「消防の魅力」や「防火・防災への関心」を高めることを目的としています。参加した子どもたちから「将来消防士になりたい。」という声もあり、頼もしさを感じるフェアとなりました。来年も開催予定なので、たくさんの参加をお待ちしています。

また、救命(AED)体験で使用した訓練用人形・AED・トレーニングマットなどは、宝くじの社会貢献広報事業として行われている「コミュニティ助成事業」の助成金を受け、備品の整備を行いました。

○コミュニティ助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力ある地域づくりなどに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。



法テラス

法テラス江差通信

●お問い合わせ 法テラス江差法律事務所
TEL 050・3383・5563

(第183号)

言葉の正確性について

弁護士の仕事をしていると、法律相談・打合せなどで助言・指示をしたり、書面作成をしたり、言葉で物事を伝える機会が多いです。このような機会では正確に伝えるために、言葉の正確性を強く意識しています。

例えば、「ハードルが高い。」と「敷居が高い。」という似て非なる言葉があります。この両者の違いをご存じでしょうか。「ハードルが高い。」とは、超えていくべき障害・関門が高いことを意味します。具体的には、「法律事務所に法律相談に行くことは、心理的にハードルが高い。」などを使うでしょう。これに対して、「敷居が高い。」とは、不義理・不面目なことをしていて、その人の家に行きにくいことを意味します。ですから、「法律事務所に法律相談に行くことは、心理的に敷居が高い。」などを使うことはないでしょう。

このように、誤って理解されている言葉は、まだあります。「姑息」という言葉は、卑怯という意味で理解されている方が多いですが、「その場しのぎの」という意味が正確な理

解です。また「煮詰まる」という言葉は、行き詰まるという意味で理解されている方が多いですが、「検討が進んで結論を出せる状態になった。」という意味が正確な理解です。

また、同じ意味を重ねてしまう表現があります。たとえば、「犯罪を犯す。」とか「頭痛が痛い。」などです。「犯罪を犯す。」を正確に言い換えるとは、どういいう言い回しになるのでしょうか。その一つの候補として、「罪を犯す。」という言い回しがあるでしょう。では、「頭痛が痛い。」を正確に言い換えるとは、どういいう言い回しになるのでしょうか……

さて、正確に言葉を使用することは、確かに大切なことです。しかし、誤って理解されている言葉については、特に誤って使った方が相手に正確に伝えることができそうですよね。正確性の程度は、場面に応じて使い分けることも大事かもしれません。

ご相談のご予約は、
050・3383・5563
までお願いいたします。
(法テラス江差)

弁護士 川口 智博

上ノ国町
地域活動支援センター
新規利用者募集中!

個別相談・見学・体験も受付中! お気軽にお問い合わせください。
問い合わせ先 たまみずき北海道 ☎0139-56-1203

